

第三弾

「浜沢栄一」篇

「江川太郎左衛門英龍」篇

品川大河アニメ

ハタチの龍馬 with クロフネくん!

浜沢栄一

ハタチの龍馬とクロフネくんが
時空を超えて現代品川めぐり
ゆくぜよ!!

坂本龍馬 & クロフネ

江川太郎左衛門英龍

品川区

一般社団法人
しながわ観光協会



みんな
見るぜよ!

YouTubeで
動画配信中

ハタチの龍馬

検索



ハタチの龍馬【品川区】ツイッター
@hatachino_ryoma

しながわの観光スポットや
イベント、おススメの飲食店、
マニアックな品川をつぶやくぜよ!

ハタチの龍馬が品川を巡る!!
龍馬がおもしろ、おかしく、
現代の品川を紹介



龍馬 meets 渋沢栄一



渋沢栄一は天保11年（1840年）現在の埼玉県深谷市）の農家の家に生まれました。20代で倒幕思想を抱き、高崎城乗つ取りを計画しましたが、計画は中止されます。明治維新後、日本で最初の合本（株式）組織「商法会衆」を静岡に設立し、その後明治政府の大蔵省へ。また富岡製糸場設立にも関わりました。大蔵省を辞めた後、企業の創設・育成に力を入れ第國立銀行をはじめ、約500もの企業の設立に関わったといわれています。

1 今日は大井町駅前にある『品川白煉瓦』の碑、にゆかりのある偉人を紹介するぜよ。明治時代、500以上の会社の設立や運営に関わったらしいぜ。

2 現代の日本でもかなり注目を浴びているよ。2021年には『太閤ドラマ』、2024年には『1万円札の肖像』になるんだから!

3 その方はもしや、日本資本主義の父、渋沢栄一さん？

渋沢栄一は天保11年（1840年）現在の埼玉県深谷市）の農家の家に生まれました。

3 あの時の鐘じゃ！

4 この梵鐘（ほんじょう）は渋沢が視察したパリ万博に展示されました。その後行方不明になり、60年後奇跡的にスイスのジュネーブで発見され「洋行帰りの鐘」と呼ばれています。

5 品川寺とかいで『ほんせんじ』にやつてきたよ。ここには貴重なものがいっぱい。釣鐘は今から360年以上も前に作られて、昭和18年には重要美術品に認定されたんだ！

6 住みやすそうな街だのう。このあたりの住宅地を開発して本当によかった。



7 おめし、住宅の開発も？

8 理想的な住宅地を開発しようと渋沢栄一を中心とした田園都市株式会社が設立。東急日暮里駅を中心としたエリアを開発し、今や高級住宅街になっているんだ。



9 青物横丁へ

10 品川寺とかいで『ほんせんじ』にやつてきたよ。ここには貴重なものがいっぱい。釣鐘は今から360年以上も前に作られて、昭和18年には重要美術品に認定されたんだ！

11 おおー！



まだまだ



*このアニメは、史実以外はフィクションです。

龍馬 meets 江川太郎左衛門英龍



其ノ七



久しぶりに浜川砲台を見に来させよ。

なんだいつ? ヤバい目つきで大砲をにらんでるぜよ!

ぎょう!



江川太郎左衛門英龍



5 じゃあ今日は品川御台場めぐりの旅だね!

4 享和元年(1801年)5月13日、江川英毅の次男として現在の静岡県伊豆の国市韭山に生まれる。西洋砲術を学び、その教授を行なつた。沿岸防備のために6つの台場を完成させました。
*第八台場は未着手に終りました。



3 江川太郎左衛門英龍! 役人として品川御台場の建造に力を注いだ人物。



江川太郎左衛門英龍

9 さっきの御殿山下台場から東へ1キロほど。海の上に作られた第四台場があつた所なんだけど、今は埋め立てられ天王洲といつアートの街!



10 天王洲からさうに東。第一、第五台場があつたよ。ここも今では埋め立てられ、コンテナ船が発着する物流基地になつてゐるよ。



幕末には、この御殿山下台場を起算に

合計8つの台場、つまり大砲を設置する場所が作られたんだ(2基が未完成)。

6 ここが台場跡? 昔は目の前が海だったのに...



7 台場はどりこわされただけど、第一台場にあった西洋式灯台は、愛知県の博物館明治村に移築されたよ。

8 台場はどりこわされただけど、第一台場にあった西洋式灯台は、愛知県の博物館明治村に

9 うん? 向こうには、まだ埋め立てられていない台場もあるな。第3・第6台場だな。

なつかしー。

まだまだ続くせよ!



所蔵: 船の科学館



11 うん? 向こうには、まだ埋め立てられていない台場もあるな。第3・第6台場だな。

なつかしー。



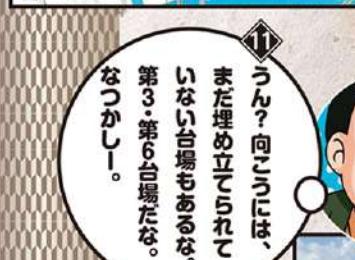
※このアニメは、史実以外はフィクションです。



博物館 明治村にあります



8 台場はどりこわされただけど、第一台場にあった西洋式灯台は、愛知県の博物館明治村に移築されたよ。



11 うん? 向こうには、まだ埋め立てられていない台場もあるな。第3・第6台場だな。



まだまだ続くせよ!

龍馬 meets 旧東海道品川宿まち歩き (北品川宿周辺)



土蔵相模跡

外壁の特徴から「土蔵相模」と呼ばれていた旅籠屋「相模屋」は、高杉晋作、伊藤博文ら幕末の武士たちが御殿山英國公使館焼き討ちの密議を行ったといわれています。

船溜まり



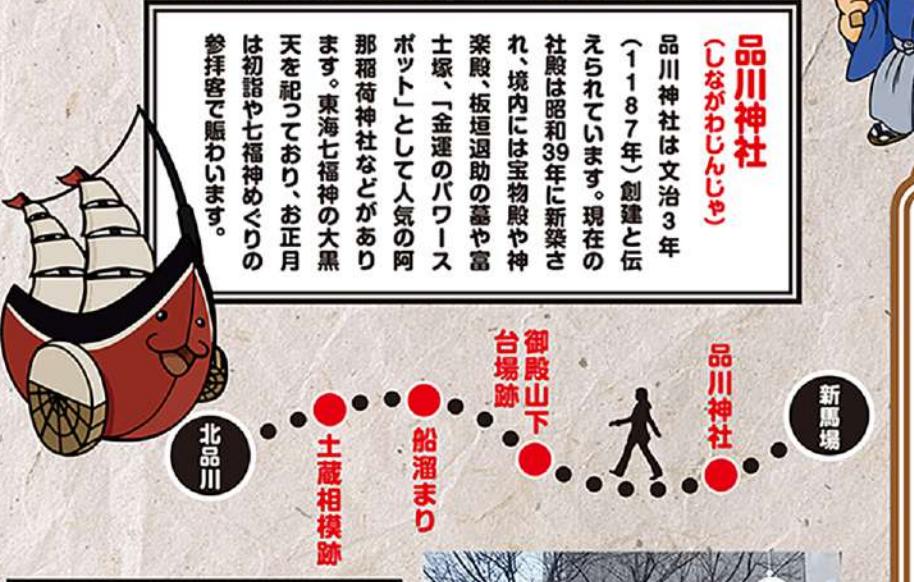
品川浦はかつて豊富な魚介類が獲れたほか、養殖海苔の主要産地の一つでした。屋形船、釣り船が舳先を並べる船溜まりからは、昔ながらの古い家並みと品川駅周辺の高層ビル群のコントラストが楽しめます。



出典 しながわ観光協会サイト

品川神社 (しながわじんじゃ)

品川神社は文治3年（1187年）創建と伝えられています。現在の社殿は昭和39年に新築され、境内には宝物殿や神樂殿、板垣退助の墓や富士塚、「金運のバワースポット」として人気の阿那稲荷神社などがあります。東海七福神の大黒天を祀っています。お正月は初詣や七福神めぐりの参拝客で賑わいます。



まだいきよ
かあいせよ



結局よりみちばかりの現代品川さんぽ、
龍馬とクロフネくんの旅路は、まだ続くのであった…

*このアニメは、史実以外はフィクションです。

